



野生動物対策の状況

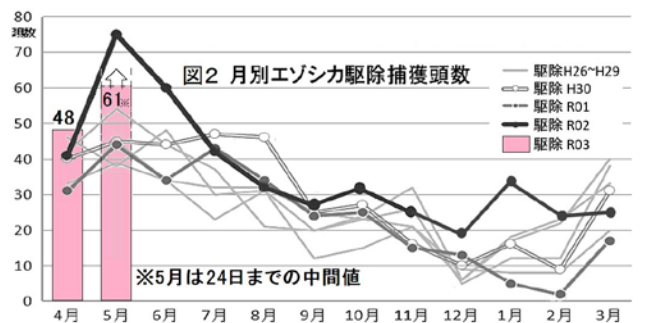
問 林業振興室
野生鳥獣専門員
☎ (56) 2174



エゾシカ

今春もシカの農地への出現数は多く、ピーク値こそ昨年に及ばないものの、一昨年までと比べて大幅に高い値となっています（図1）。季節移動もあり、すべてが夏中留まるとは限りませんが、牧草やデントコーンへの影響が憂慮されます。4月の捕獲数は48頭で、同月として過去最多でした。5月も全力を傾けて捕獲を続けています（図2）。

5月下旬から6月がシカの出産時期です。まもなく子ジカの元気な姿が見られます。



ヒグマ

日頃から村内のヒグマ情報をお伝えしていますが、情報の無いところにもヒグマはおります。図3は過去5年分の主な情報地点ですが、人の目があればどこでもヒグマ情報があり、村

内全域にほぼ空白なく生息していると考えられます。それでは、ヒグマ情報は、どう解釈し、活用したらよいのでしょうか。

ヒグマは人目を避けて動くことが多く、意外と人の近くで目撃されずにいることが、足跡や食痕の分布から分かっています。こうした実態を踏まえた上で、目撃の頻度が高くなる状況では、人目をいとわない、より接近のリスクを冒しやすい性質の個体が現れている恐れがあると判断できます。

ヒグマ情報を読み取る際は、ヒグマがいるかいないかではなく、情報の内容がどうか、他の情報とどのように関連付けられるかに注目し、注意すべき場所や、そこでの行動について判断の参考にしてください。

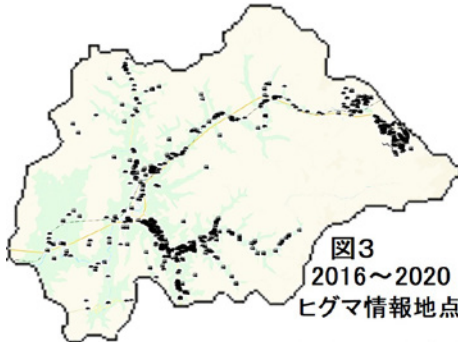
5月に入り、道路や人家付近での出現が増えました。例年7～8月には、アリやフキの採食に伴う夏型の出没があり、6月はその前哨戦の時期です。対処を要する事象を見逃さないよう、平素の情報収集に努めてまいります。

新しい情報は折込み資料に掲載予定です。



アライグマ

4月以降、5月12日現在まで、捕獲は2頭にとどまっています。引き続き捕獲を試みていきます。



シカ肉の地域流通を目指して体験学習

村内で有害鳥獣駆除により捕獲されたシカの肉は、一般のお店では販売されておらず、手に入りにくいのが現状です。

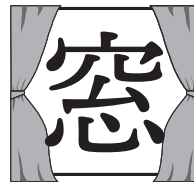
おいしく栄養豊富なシカ肉を、地域の家庭へどのように届けることができるかを考えるため、住民モニターが枝肉の加工工程を体験しました。

4月下旬に村の野生獣処理加工施設「ジビエ工房森の恵み」にて、上トマムの長谷川さんと伊藤さんが野生鳥獣専門員と一緒に、1頭分の枝肉を約2時間かけて切り分けながら、各工程の作業性や肉の状態を学び、意見を交わしました。

村では今後も様々な取り組みを続けていきます。



生涯学習の



教育・文化・スポーツの
ホットな情報をお届けします。

問 教育委員会社会教育担当 ☎ (56) 2183

ヨガでリフレッシュしませんか？

感染予防対策を実施の上、ヨガ教室を月1回のペースで実施しています。ヨガの効果は、自律神経と身体のバランスを整え太りにくい身体作りが期待されます。ヨガでリフレッシュしてみませんか？

毎月参加する必要はありません。興味のある方は、自分が参加できる日にぜひご参加ください。

こんな方にオススメ。

- ・筋力がない
- ・運動が苦手
- ・冷えやだるさ肩こりむくみなどを改善したい
- ・リラックスしたい
- ・病院に行くほどではないが不快な症状に悩んでいる



ヨガ講座のお知らせ

今月から土曜日と平日を交互に実施する予定です。
（日程等に変更が合ったりした場合は行政区回覧等で周知します。）

日時	令和3年6月26日（土） 10時30分から11時30分まで
場所	占冠村コミュニティプラザ 多目的ホール
参加費	700円（当日お支払下さい）
持ち物	ヨガマット（なければバスタオル）、飲み物 ※動きやすい服装でお越しください。
申込	占冠村公民館☎（56）2183までご連絡ください。
講師	山縣 香織 先生（富良野ヨガ）
送迎バス	トマム地区から送迎のバスが出ます。 【行き】トマム支所前 9：45発 【帰り】コミプラ 12：00発



写真はノンノでの開催風景

託児利用 託児を希望される方は申込時にお知らせください。
（希望者が多い場合は、利用を制限させていただく場合がございます。予めご了承ください）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、送迎バス・託児の利用については必ず事前にお申し込みください。事前申込がない方の利用はお断りいたします。

村民スポーツレクリエーションの中止について

7月4日（日）に開催予定していた村民スポーツレクリエーションは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「中止」といたしました。